

＜全国教会 女性連合会＞

被災者とふれあい、

とりなしの祈りが明確に

全国教会女性連合会四局合同研修会 「いのちと出会い、これからを考える」

「どうしても一度、被災地を訪ねたい」「何かできることがあればしたい」。そんな熱い思いを胸に、全国女性会の会員49名が全国各地から東北に結集した。3泊4日の日程で2教会を含む6ヵ所を訪問し、5つの講演、報告を聞き、仮設住宅でのイベントと水曜祈祷会まで行なう過密スケジュール。どのような出会いや発見があったのか、レポートする。

☆☆☆

今年はずいぶん被災地で研修を、机上の学びではなく現地を視察し、移住外国人女性の話を聞いて私たちにできることを探ろう。それが今回の研修会の大きなねらいだった。

6月18日(月)午後、各地から仙台空港に集合し、大型バスにて郡山伝道所(朴正根牧師)へと向かう。今回の旅の特徴は、走行距離が1,000キロを超えることと、4日間に詰め込めるだけ詰め込んだ日程。車中で居眠りする暇はない。『災害とところのケア その理論と実践』のブックレポートを聞きながら夕刻、伝道所に到着。開会礼拝(説教:鄭仁和牧師)の後、「須賀川シオンの丘」に移動し、郡山伝道所信徒の心づくしの夕食をいただき、朴正根牧師の講演「原発被害の実際と未来」を聞く。



＜郡山伝道所信徒の舞＞

放射能の濃度が高い中、ここにいる人たちのために今こそ福音を伝える時だと、避難せず残る決意をした朴牧師家族とその働きに加わっている信徒たち。高校生の姉妹の言葉が心に残った。「福島には誰も来てくれないけれど、皆さんは遠くから来てくれたので嬉しい」。

2日目19日(火)は、郡山市内の仮設住宅(310世帯)での炊き出しとイベント。韓国の餅と缶入りシッケなどを配布し、集会所では落語と讃美、ヘアカットとハンドマッサージを準備。喫茶コーナーでくつろいでいた方々にハンドマッサージを行った。最初は遠慮していた男性陣も、強引な誘いによってマッサージを受けると、気持ちがいいと喜んでおられた。「話を聞く人が来てくれたのは10ヵ月ぶり」とのこと胸が痛んだ。



＜郡山市仮設住宅で、ヘアカット＞



＜仮設住宅で、ハンドマッサージで交流＞

午後からは岩手・南三陸町までの移動時間を利用し、車中でフィリピン人女性グループ「ハワクカマイ(手をつなぐ)」会長、後藤キャサリンさんの話を聞く。5名から始まったグループは福島県内80名の集まりとなり現在、英会話教室を立ち上げている。震災直後の4月には、フィリピン政府からすべての同胞への帰国命令が出たが、日本にいる家族と、子どもたちが馴染まないことを考え帰国しなかったという。

在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して2006年4月25日、創立100周年を迎えました。



- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル):フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から200名様会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール:220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCA アジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食¥200	カルピックッパ、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒー付き)	

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5

TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

関西韓国YMCAアジア青少年センター〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15

TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782



＜石巻市大川小学校跡地でささげる祈り＞

続いて RAIK 所長佐藤信行氏から、「外国人被災者の現在」についてのお話を伺った。各地に点在する外国人を一人一人尋ね歩く様子は、99 匹を置いて 1 匹を探し求める姿と重なった。

夕刻、南三陸町で唯一残ったというホテル観洋に到着し、李善姫氏（東北大学大学院法学研究科）から「東北の花嫁さんの 90% 以上は日本名で生活し、同胞の仲間内でさえ、本名を知らない。それが震災後の身元確認に大きな困難となったとのことだった。東北、過疎、因習の強い土地柄など諸要素が絡み合う中、今後同胞のネットワークの必要性が見直されていくことを願っていると締めくくられた。



＜山形ウリ教会女性会とともに＞

3 日目 6 月 20 日 (水) は、津波の被害がもっとも甚大だったと言われる南三陸町、石巻市を視察。多くの方が犠牲になった老人ホームや大川小学校の跡地を訪ね、祈りをささげた。山形へと向かう途中、仙台市内の「エマオ」に立ち寄り、「エマオ」と「東北ヘルプ」の活動についての話を伺う。

夕刻、山形県天童市の山形ウリ教会（李明信牧師）に到着。水曜礼拝をともにし、信徒との親睦会をもった。今回の参加者の中には、西部地方会の「シオン合唱団」11 名がいる。被災地で讃美をしたいという祈りが実現、ツアー中に 4 回の奉仕ができた。

水曜礼拝では、金必順牧師（女性会総務）が「絶望の中にいのちの森を」と題し黙示録 22:16 から説教。神殿が崩壊し絶望に見えたイスラエルに、主はダビデのすえとしてイエスを与え、そのいのちが私たちに受け継がれている。地震と放射能で絶望に見える地にも、主は死んだような切り株から新しい芽、「ひこばえ」を与えてくださるとのメッセージだった。山形ウリ教会と郡山伝道所など被災した 4 教会には、昨夏、女性会からの「復活の祈り献金」を役員らが直接手渡した。その際の再会の約束を果たすことができた。最終日は、サクランボ狩りと牛タンを楽しんで各自仙台から帰途についた。（報告：朴栄子社会局長）



ボランティア活動

【ボランティア所感】

研修会後、ボランティアのために残った 8 名は、3 泊の日程で日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ（仙台市）を拠点として活動した。エマオでは、「スロワーク」＝寄り添い・祈ることを大事にしている。

朝、仮設住宅の集会所で一緒にラジオ体操し、ヘアカットやハンドマッサージをしながらお話を聴き、ふれあうことができた。また、畑や民家の庭の草取り（津波によるいろいろな種類の植物が畑に運ばれている）、泥かき、家の中のそうじなどの奉仕をさせていただいた。2 日間での奉仕はわずかなものだが、被災地でのボランティアはこれからはもっと必要だと痛感した。エマオでボランティア活動する青年たちの姿を通して、日本の未来に希望をみたように思う。

（崔美恵子教育局長）

【参加者の声】

「現場で自分のすべきことに気付いた。」「被災地でキリストの涙を感じた。」「自分のとりなしの祈りの課題がわかった。」「かえって自分が慰められ励まされた。」「何らかの心のケアができないかと思った。」「被災地の現状を少し垣間見ただけだが、今後は何らかの行動を起こしたい。」「これからの道が、少し見えてきた気がする。」「マッサージをしながら心が通い合うのを感じた。」

豊かな味はころまで豊かにする。

専家房
SAIKABO

四谷本店
東京都新宿区四谷3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200

代表取締役 呉永錫
(東京希望キリスト教会 長老)

<関西地方会>「オリニ大会」 関西の子供 200名以上参加

去る6月10日(主日)、「オリニ主日」午後2時30分から4時40分まで、大阪教会において、関西地方会教育部主催による「オリニ大会」が持たれた。参加教会は10教会、幼稚科から大人まで、カウントできただけでも203名以上の参加人数であった。関西地方にある各教会のCS(教会学校)の交わりと自分たちの教会だけにとどまらず他の教会を知り、大人になってからも共に働ける場が作れることを目的に、数年前から隔年に1回ずつ持たれている。そのために各教会CSからの校長をはじめ教師が集って準備会をコツコツと積み上げてきていた。



テーマソングは「空と海つくれた主」とし、手話と共に何回も繰り返して讃美した。第一部の礼拝では、教育部長である全聖三牧師(布施教会)のユーモアたっぷりの力強いメッセージがなされ、一同元気をもらった。

第二部は交わりの時で、大阪、大阪第一、築港、浪速、大阪西成、枚岡、平野、平康、布施、大阪北部の順番で、各教会の紹介と出し物が披露された。それぞれが工夫をこらして、一生懸命練習してきたことが窺えた。紹介はパワー・ポイントが用いられる場合が多く、時代の流れを感じさせた。李相萬長老(大阪北部教会)の絶妙なアドリブを交えての司会ぶりに、皆が楽しく過ごすことが出来た。

各教会紹介の合間には、「聖書クイズ」が、幼稚科・小学校低学年・小学校高学年・中高生を対象に三択問題で最後に残った人に賞品が与えられた。

報告の後、参加者にお菓子が一袋ずつ配られた。総会長金武士牧師(大阪西成教会)の祝祷ですべてのプログラムが終了し、散会した。隔年といわず、来年も持とうということになり感謝である。続いて、小さなCSが集って、「海と空つくれた神さま」を主題に合同夏期学校が7月22日～23日に持たれる予定である。(報告:呉寿恵)

讃頌歌委員会からのお願い 私たちの信仰を歌い、祈る讃美歌を作しましょう!

- ・言葉:日本語、韓国語、両方(なるべく楽譜付きで)。
- ・用途:礼拝での会衆讃美
- ・収録:『新韓日讃頌歌』
- ・期限:2012年9月中
- ・問合せ:讃頌歌委員会 金必順委員長
☎ 06-6731-3939・090-6058-6977

<総会事務所夏期休暇のお知らせ:8月13日～17日>

<お詫びと訂正>

7月11日、在日韓国基督教教会館(KCC)より『改定「入管法」「入管特例法」「住民基本台帳法」施行にともなう行政手続き変更についての案内』を送らせていただきましたが、内容に誤りがありましたので、次のお詫びと訂正いたします。

1.「永住者用」と「非永住者用」のリーフレット中、「地方入管で在留カードを受け取った日から14日以内にこれまで外国人登録をしていた役所で在留カードに住所を記載してもらう」とありますが、これは新しく日本に入国してきた外国人にのみ義務付けられた制度で、これまで外国人登録をしていた永住者や非永住者はこの手続きをする必要はありません。

2.「非永住者用」のリーフレット中、「16歳未満の子どもは16歳の誕生日まで在留カードの申請をする」とありますが、16歳未満の子どもも次の在留期間更新手続きの時に「在留カード」の申請をしなければなりません。ただし在留期間更新の時に16歳になっていなければ写真は必要ありません。

重要な事項について誤りがあったこととお詫びいたします。なお、これらの点を修正したリーフレットを作成しましたので、各教会伝道所において信徒の皆様への案内用としてご利用くだされば幸いです。(在日韓国基督教教会館・金成元)

<사과와 정정>

7월 11일, 재일한국기독교회관(KCC)에서 『개정「입국관리법」 「입관특례법」 「주민기본대장법」 실행에 따른 행정수속변경에 대한 안내』를 송부하였습디만, 그 내용에 틀린 부분이 있어서, 다음과 같이 정정합니다.

「영주자용」과 「비영주자용」 안내문 가운데, 「지방입국관리국에서 「재류카드」를 받은 날부터 14일 이내에 지금까지 외국인등록을 하던 시區町村 사무소에 가서 「재류카드」에 주소를 기재받아야 합니다」라고 하였습디만, 이것은 처음 일본에 입국한 외국인에게만 의무화되어 있는 제도이고, 지금까지 외국인 등록을 하고 있던 영주자 및 비영주자는 그 수속을 할 필요가 없습디다.

「비영주자용」 안내문 가운데, 「16세 미만의 어린이는 16세 생일까지 「재류카드」의 교부 신청을 합니다」라고 하였습디만, 16세 미만 어린이도 다음 재류기간갱신수속 때에 「재류카드」 신청을 하지 않으면 안됩니다. 단, 재류기간 갱신 때에 16살이 되지 않았으면 사진은 필요가 없습디다.



Euodia Music Festival in KYOTO

秋色の饗宴 京都

2012年9月14日(金)～9月15日(土)

会場/在日大韓基督教教会 京都教会

料金/各公演1,500円(学生1,000円) 通し券3,000円

主催:一般社団法人ユーオーディア

共催:在日大韓基督教教会 京都教会

問合せ:ユーオーディア事務局 03-6657-5011

在日大韓基督教教会 京都教会 075-311-5051

伊藤 FAX 075-311-1527

http://euodia.jp

問い合わせ /
ユーオーディア
事務局
☎ 03-6657-5011

伊藤
FAX 075-311-1527

在日大韓基督教教会
京都教会
☎ 075-311-5051

チケット /
各公演 1,500円
(学生 1,000円)
通し券 3,000円

◆ピアノ 小堀英郎
氏夫妻は、京都教会
の洗礼会員です。

京都教会は、地域伝道のために一般社団法人ユーオーディアと Music Festival を共催します。

2012年9月14日(金)～9月15日(土)
会場/在日大韓基督教教会 京都教会



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

2012年8月1日(水) 第710号

発行所 **福音新聞社** (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
電話 03 (3202) 5398
発行人/金 武士・編集人/洪性完
fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)
info@kccj.jp (総会事務局)

2012年 平和メッセージ

日本基督教団 総会議長 石橋秀雄 在日大韓基督教会 総会長 金武士

「地とそこに満ちるもの、世界とそこに住むものは、主のもの。」(詩編24編1節)

東日本大震災の発生から1年4か月が経過しました。2012年3月11日現在で、死者15,854名、行方不明者3,155名という厳しい現実を前に、主なる神の憐れみを願い求めます。被災し、今なお大変な困難の中で生活しておられる方たち、福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染により、将来の不安を抱える中で、その生活の場から避難することを余儀なくされている方たちを覚え、主の支えと導きを心よりお祈りいたします。

日本基督教団並びに在日大韓基督教会では、震災後直ちに被災者・被災地の救援と支援活動を開始し、今日に至るまでその活動を展開しておりますが、このことのために両教会の諸教会のみならず、海外の多くの教会において祈りがなされ、支援が継続されておりますことを感謝いたします。さらに、原子力発電所事故による放射能の拡散を防ぎ、放射能の被曝の危険の中で懸命に働いておられる方々の努力と痛みを覚えます。

さて、この度の震災による被害の中で、私たちがとりわけ関心を持ち続けて行かなければならないのは放射能汚染の問題であり、その原因となった原子力による発電の問題性です。すでに昨年「平和聖日」に両教会合同で「平和メッセージ」を発表しました(『教団新報』第4728号、『福音新聞』第699号)。その中で原子力発電の問題性を指摘し、「全ての原発の稼働を停止し、廃炉を前提とした処置が取られること」を表明しました。

福島第一原子力発電所事故は、原子力発電というものが、神に祝福された世界、神の創造の秩序を破壊し、命あるものの関係を断ち切る人類滅亡の危機の始まりとなりうることを警告しています。日本は被爆国です。原爆の恐怖は投下された時の凄まじい破壊の恐怖にとどまらず、その時助かった方々にも一生放射能の恐怖に怯える生活をもたらしました。わたしたちは国家の原子力政策の被害者でもあります。福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の被害により、軍事のみならず民事においても被害者となりました。しかし、同時に今や日本は原発事故によって大量の放射能を大気に、海に放出し、世界に対する加害者になってしまいました。

新たな地震によって、福島第一原発4号機の1535本の核燃料棒に対する冷却手段を失えば、再臨界を招き、大気中に果てしなく放射能を放出し、かつて人類が経験することのなかった世界の滅亡の始まりとなることが指摘されております。

被曝に由来する癌が発見されるまで5年、10年と長い年月がかかると共に、放射能は遺伝子を破壊し、その影響は次の世代にまで及ぶと言われております。

人間のつくった原子力発電のシステムは、神の創造の秩序の破壊をもたらすものと言わざるを得ません。人間の命よりも経済が優先される社会の中で生きるわたしたちの悔い改めが求められています。

震災から1年4か月が経過し、原子力発電所の事故による影響が極めて広範囲に及んでおり、またその内容も深刻さを増している現在の状況の中で、すべての原子力発電所の稼働を停止し、廃炉を前提とした処置が取られることを求めつつ、両教会に属するすべての教会において祈りを合わせていただきたいと思います。

東日本大震災 KCCJ 募金口座案内

- ・銀行 (BANK) : 三菱 UFJ 銀行
(THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, Ltd)
- ・支店 (BRANCH) : 高田馬場支店 (TAKADANO-BABA)
- ・種類 (SWIFT) : 普通預金 (BOTKJPJT)
- ・口座 (A/C) : 053-1615275
- ・名義 : 在日大韓基督教会総会
(THE KOREAN CHRISTIAN CHURCH IN JAPAN)

ヨーロッパ宗教改革及び文化遺跡地探訪 12日 유럽 종교개혁 및 문화유적지탐방 12일

主催 : 関西聖書神学院
期間 : 2012年10月8日(月) ~ 19日(金)
費用 : 30 ~ 33万円 (€ 為替相場及び参加人数による変動幅)
(€ 환율 및 참가인원에 따른 변동폭)
問い合わせ : 鄭然元牧師 ☎ 06-6712-3377・090-8384-3199
趙永哲牧師 ☎ 06-6371-1914・080-5318-9058

関西聖書神学院